

2015年度 県立機関活用講座

「鎌倉からはじまった。1951-2016 近代美術館とわたし」

日本で最初の公立近代美術館として、1951年に鎌倉の地に開館した神奈川県立近代美術館 鎌倉は、2016年1月末をもって展覧会活動を終了します。鎌倉館が64年余りの歴史を閉じるにあたって、文学、美術、建築などさまざまなジャンルで活躍する方々を講師にお招きし、鎌倉館についてのエピソードや思い出を交えてお話しいたします。

「私の鎌倉近代美術館」

おぎの
講師：荻野アンナ氏（作家／慶應義塾大学教授）

【第1回】
10月17日（土）
午後2時～4時

1956年神奈川県生まれ。慶應義塾大学文学部仏文学専攻卒業、同大学大学院博士課程修了。在学中に渡仏し、パリ第四大学に留学。フランソワ・ラブレールなどの仏文学を研究するかたわら執筆活動に取り組み、1991年『背負い水』で第105回芥川賞を受賞。母は画家・江見絹子。おもな著書に『ホラ吹きアンリの冒険』（文藝春秋、第53回読売文学賞）、『蟹と彼と私』（文藝春秋、第19回伊藤整文学賞）など。

「美術館という空間」

リ ウーファン
講師：李 禹煥氏（美術家）

【第2回】
10月31日（土）
午後2時～4時

1936年韓国慶尚南道生まれ。1956年に来日。日本大学文学部哲学科卒業。1960年代後半から、制作と理論の両面から「もの派」を牽引する中心的存在として活躍し、国内外から高い評価を受ける。1993年、神奈川県立近代美術館 鎌倉で個展を開催。日本とパリに制作の拠点を置き、2010年、直島に李禹煥美術館開館。2011年にニューヨークのグッゲンハイム美術館、2014年にヴェルサイユ宮殿で個展を開催。著書に『余白の芸術』（みすず書房）など。

「“鎌近”の誕生—美術館の戦後70年—」

たかしな しゅうじ
講師：高階秀爾氏（大原美術館館長／西洋美術振興財団理事長／東京大学名誉教授）

【第3回】
11月14日（土）
午後2時～4時

1932年東京都生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業。東京大学大学院在学中にフランス政府招聘給費留学生として渡仏、パリ大学付属美術研究所およびルーヴル学院で西洋近代美術史を専攻。1959年から国立西洋美術館勤務。その後東京大学教授を経て、1992年から国立西洋美術館館長に就任し、2000年に退官。2002年に大原美術館館長に就任。2012年に文化勲章受章。おもな著書に『日本近代美術史論』（ちくま学芸文庫）、『西欧絵画の近代』（青土社）など。

「坂倉準三と鎌倉館について」

ふじもり てるのぶ
講師：藤森照信氏（建築史家／建築家／工学院大学特任教授／東京大学名誉教授）

【第4回】
11月15日（日）
午後2時～4時

1946年長野県生まれ。東京大学大学院博士課程修了。専攻は近代建築、都市計画史。赤瀬川原平や南伸坊らと「路上観察学会」を発足。1991年「神長官守矢史料館」で建築家としてデビュー。1997年「赤瀬川原平邸（ニラ・ハウス）」で日本芸術大賞、2001年「熊本県立農業大学校学生寮」で日本建築学会賞を受賞。著書に『日本の近代建築』（岩波新書）、『建築史的モンダイ』（ちくま新書）、『藤森照信建築』（TOTO出版）など。

「カマクラ詣でのころ」

いけうち おさむ
講師：池内 紀氏（ドイツ文学者／エッセイスト）

【第5回】
11月22日（日）
午後2時～4時

1940年兵庫県姫路市生まれ。翻訳、評論、エッセイなど、専門のドイツ文学のほか、幅広いテーマにわたり恬淡でユーモアのある文体で執筆活動を展開している。著書に『海山のあいだ』（中公文庫、講談社エッセイ賞）、「ゲーテさんこんばんは」（集英社、桑原武夫文芸賞）ゲーテ『ファウスト』新訳全2巻（集英社文庫、毎日出版文化賞）、『恩地孝四郎 一つの伝記』（幻戯書房、読売文学賞）、『ちょっと寄り道美術館』（知恵の森文庫）、『池内紀の仕事場』全8巻（みすず書房）など。

